



平成28年度  
「かわにし健幸マイレージ」医療費等効果分析

【川西市国民健康保険被保険者】

平成29年8月  
川西市健康福祉部健幸政策室



## 目次

第1章 概要	3
第2章 分析結果	5
1.参加者と分析対象者について	5
2.医療費の効果分析	6
(1)入院外医療費全体における生活習慣病入院外医療費	7
(2)生活習慣病患者一人当たりの生活習慣病入院外医療費推移	8
3.特定健診結果の状況	9
(1)特定健診受診状況	9
(2)検査値の分析	10
(3)運動習慣に関する質問票集計結果	11



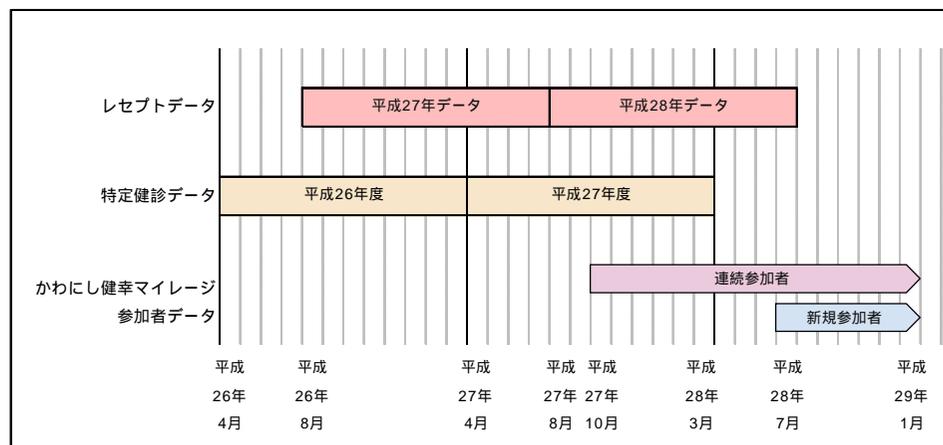
# 第1章 概要

川西市にて実施している「かわにし健幸マイレージ」の効果を測定するため、参加者のうち川西市国民健康保険被保険者について、レセプトデータ及び特定健診データより医療費や検査値の推移を分析します。

分析の概要は以下の通りです。

## 分析対象範囲

- ・ 医科、DPC及び調剤の電子レセプト(2年分)  
平成27年(平成26年8月～平成27年7月診療分(12ヵ月分))  
平成28年(平成27年8月～平成28年7月診療分(12ヵ月分))
- ・ 特定健診データ(2年分)  
平成26年度(平成26年4月～平成27年3月健診分(12ヵ月分))  
平成27年度(平成27年4月～平成28年3月健診分(12ヵ月分))
- ・ かわにし健幸マイレージ参加者(川西市国民健康保険被保険者)データ  
平成27年度、平成28年度



## 分析対象者

40歳以上の川西市国民健康保険被保険者を対象に平成26年8月から平成28年7月の2年間を通して資格のある者を集計対象としています。

- ・ 連続参加者...平成27年度から平成28年度に連続して「かわにし健幸マイレージ」に参加した川西市国民健康保険被保険者
- ・ 新規参加者...平成28年度に新たに「かわにし健幸マイレージ」に参加した川西市国民健康保険被保険者
- ・ 国保全体...平成27年度及び平成28年度の川西市国民健康保険全体  
年齢は、平成28年7月31日時点で集計。



# 第1章 概要

## 分析内容

平成28年のレセプトデータ及び平成27年度の特定健診データより連続参加者、新規参加者、国保全体の生活習慣病有病率、医療費及び特定健診結果の分析を行います。また、平成27年と平成28年のレセプトデータ及び平成26年度と平成27年度の特定健診データより経年での比較も行います。

生活習慣病に関する疾患は、生活習慣を起因とし発症する疾病を含む疾病中分類を選定しました。以下に一覧を示します。

	中分類疾病項目	主要傷病名
0402	糖尿病	糖尿病、糖尿病網膜症、他
0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脂質異常症、高コレステロール血症、他
0901	高血圧性疾患	高血圧症、本態性高血圧症、他
0902	虚血性心疾患	心筋梗塞、狭心症、他
0904	くも膜下出血	くも膜下出血、脳動脈瘤破裂、他
0905	脳内出血	脳出血、高血圧性脳内出血、他
0906	脳梗塞	脳梗塞、出血性脳梗塞、他
0907	脳動脈硬化	頸動脈硬化症、脳動脈硬化症、他
0908	その他の脳血管疾患	高血圧性脳症、脳血管障害、他
1402	腎不全	慢性腎不全、末期腎不全、他

この分析は、委託先の株式会社データホライゾンが有する技術に基づき行っています。



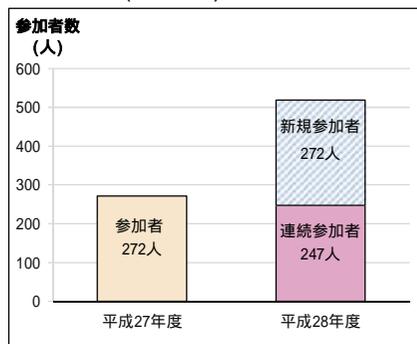
## 第2章 分析結果

### 1.参加者と分析対象者について

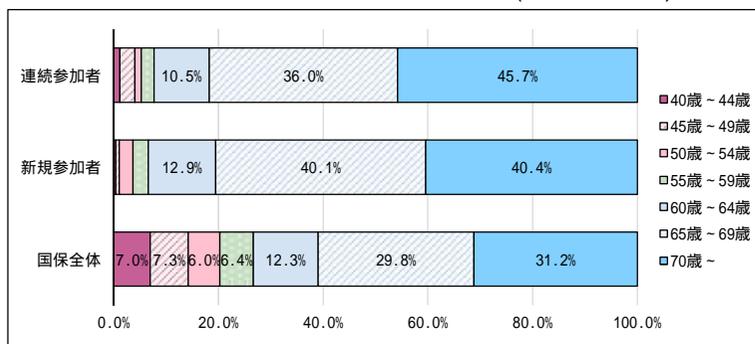
平成27年度と平成28年度の川西市国民健康保険被保険者の参加者数と分析対象者は以下の通りです。

参加者については、連続参加者、新規参加者共に65歳以上の参加者が80%以上と、国保全体の61.0%と比べて多い結果となりました。

参加者数(男女計)

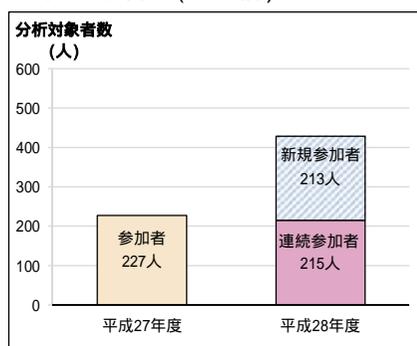


年齢階層別 参加者及び国保全体の構成比(平成28年度)

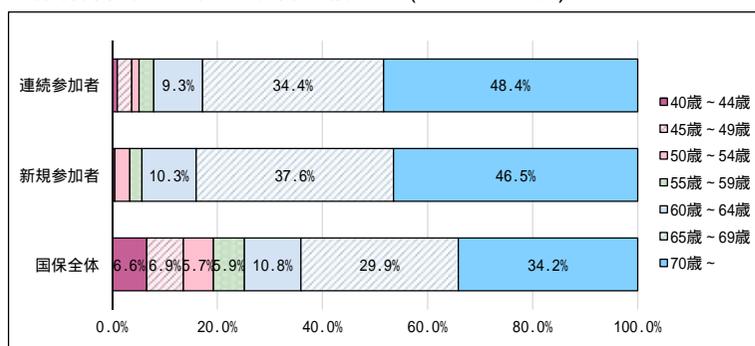


分析対象者については、平成27年度から平成28年度を通して資格がある者を集計しているため、参加者と比べて人数が少なくなっています。構成比は連続参加者、新規参加者共に65歳以上の参加者が82%以上と、国保全体の64.1%と比べて多い結果となりました。

分析対象者数(男女計)



年齢階層別 分析対象者の構成比(平成28年度)





## 第2章 分析結果

### 2. 医療費の効果分析

平成27年度と平成28年度に参加の川西市国民健康保険被保険者における医療費の状況は以下の通りです。医療費全体及び生活習慣病医療費は平成27年から平成28年にかけて、連続参加者、新規参加者、国保全体共に増加していました。

#### 医療費の状況

項目	平成27年			平成28年			
	連続参加者	新規参加者	国保全体	連続参加者	新規参加者	国保全体	
医療費全体(円)	46,626,030	45,071,290	7,719,670,870	55,490,240	55,181,830	8,989,077,250	
患者数(人)	194	200	21,348	203	199	21,618	
生活習慣病	医療費(円)	11,897,522	12,828,280	2,112,795,867	18,013,939	13,999,786	2,308,612,345
	患者数(人)	126	144	13,795	132	143	14,359
	有病率(%)	58.6%	67.6%	54.4%	61.4%	67.1%	56.6%
	患者一人当たり医療費(円)	94,425	89,085	153,157	136,469	97,901	160,778

データ化範囲(分析対象)...入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。

対象診療年月は平成26年8月～平成28年7月診療分(24カ月分)。

有病率...生活習慣病患者数/参加者数または被保険者数



## 第2章 分析結果

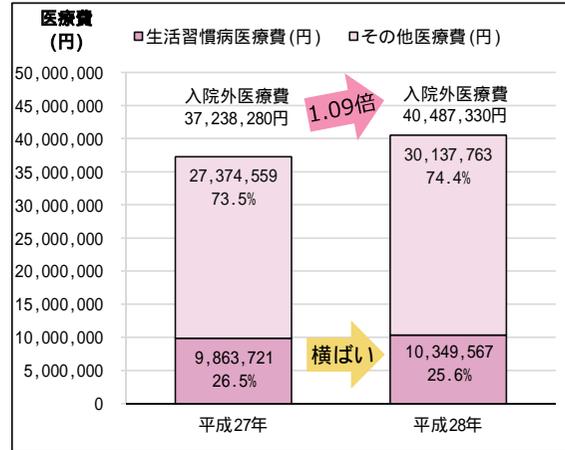
### (1)入院外医療費全体における生活習慣病入院外医療費

入院外医療費全体について平成27年から平成28年の推移をみると連続参加者、国保全体共に増加しています。連続参加者は1.09倍で、国保全体1.12倍と比較すると医療費の増加が少ないという良い結果がみられました。

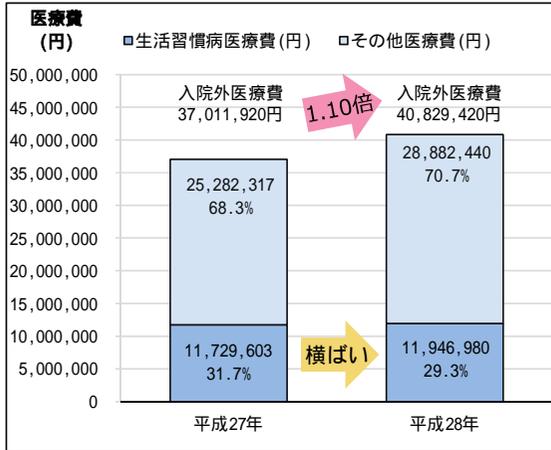
また、入院外医療費全体は増加していますが、生活習慣病入院外医療費は横ばい傾向でした。

入院外医療費全体における生活習慣病入院外医療費とその他入院外医療費の推移

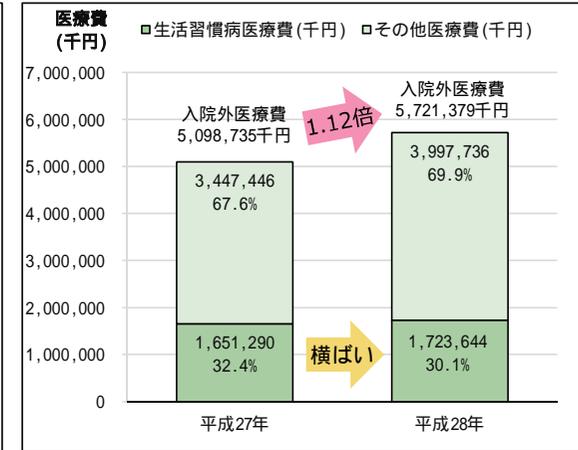
(連続参加者)



(新規参加者)



(国保全体)



データ化範囲(分析対象)...入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。  
対象診療年月は平成26年8月～平成28年7月診療分(24カ月分)。

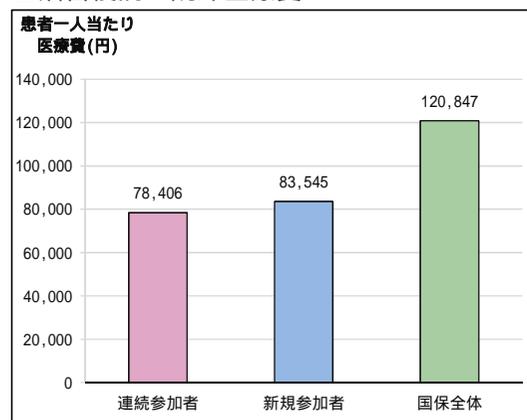


## 第2章 分析結果

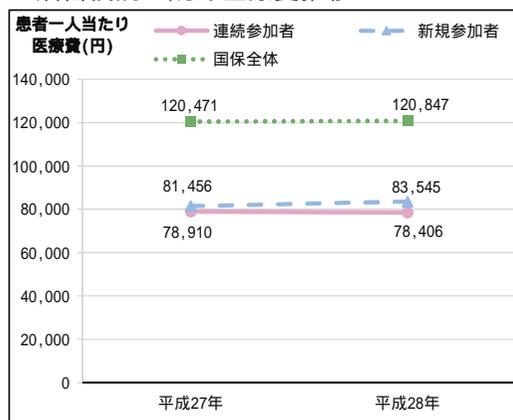
### (2)生活習慣病患者一人当たりの生活習慣病入院外医療費推移

生活習慣病患者一人当たりの生活習慣病入院外医療費を比較すると平成28年度は連続参加者が78,406円で、国保全体の120,847円より42,411円低い結果となりました。また、平成27年から平成28年の推移をみると連続参加者は504円減少、国保全体は376円増加と、連続参加者に良い結果がみられました。

生活習慣病患者一人当たりの生活習慣病入院外医療費



生活習慣病患者一人当たりの生活習慣病入院外医療費推移



データ化範囲(分析対象)...入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。  
対象診療年月は平成26年8月～平成28年7月診療分(24カ月分)。  
新規参加者は、平成27年、28年とも健幸マイレージ参加前の医療費。



## 第2章 分析結果

### 3. 特定健診結果の状況

#### (1) 特定健診受診状況

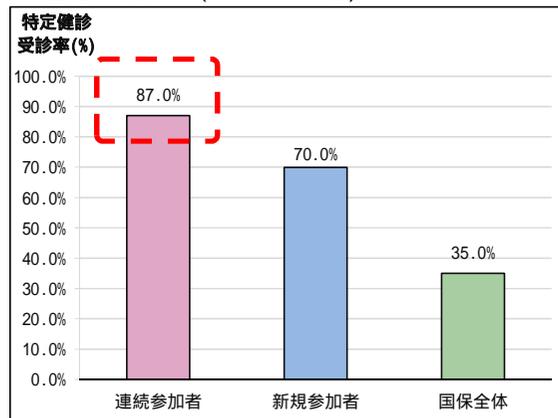
特定健診受診率について比較すると、平成27年度は連続参加者が87.0%で、国保全体の35.0%より52.0ポイント高い結果となりました。平成26年度から平成27年度の推移をみると連続参加者は17.7ポイント、国保全体は2.2ポイント増加しており、連続参加者は国保全体より増加しているという良い結果がみられました。

#### 特定健診受診状況

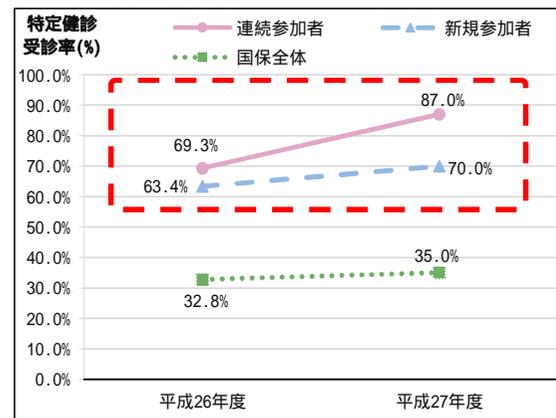
特定健診	平成26年度			平成27年度		
	連続参加者	新規参加者	国保全体	連続参加者	新規参加者	国保全体
対象者数(人)	215	213	25,374	215	213	25,374
受診者数(人)	149	135	8,321	187	149	8,885
受診率(%)	69.3%	63.4%	32.8%	87.0%	70.0%	35.0%

受診率...健診結果に基づき算出しているため、法定報告値とは異なる。

#### 特定健診受診率(平成27年度)



#### 特定健診受診率推移



データ化範囲(分析対象)...健診データは平成26年4月～平成28年3月健診分(24カ月分)。

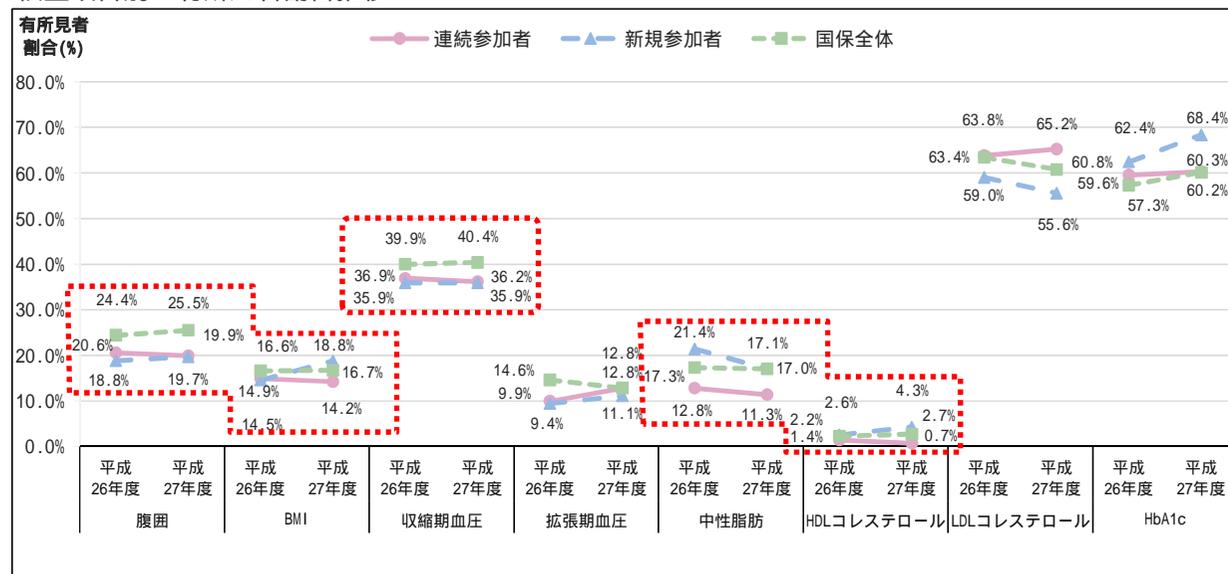


## 第2章 分析結果

### (2)検査値の分析

平成26年度から平成27年度の検査項目別有所見者割合の推移をみると連続参加者は腹囲、BMI、収縮期血圧、中性脂肪、HDLコレステロールの5項目が減少しており、国保全体は拡張期血圧、中性脂肪、LDLコレステロールの3項目が減少していました。連続参加者は65歳以上の参加者が国保全体より多いにも関わらず(P.5「1.参加者と分析対象者について」参照)、国保全体より有所見者割合の低い検査項目が多く、さらに経年で減少している検査項目が多いという良い結果がみられました。

検査項目別 有所見者割合推移



データ化範囲(分析対象)...健診データは平成26年4月～平成28年3月健診分(24カ月分)。



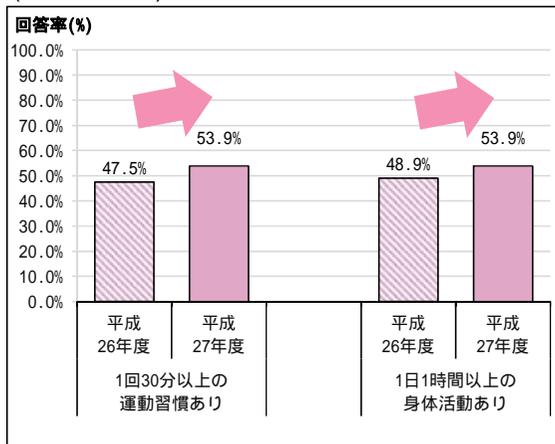
## 第2章 分析結果

### (3)運動習慣に関する質問票集計結果

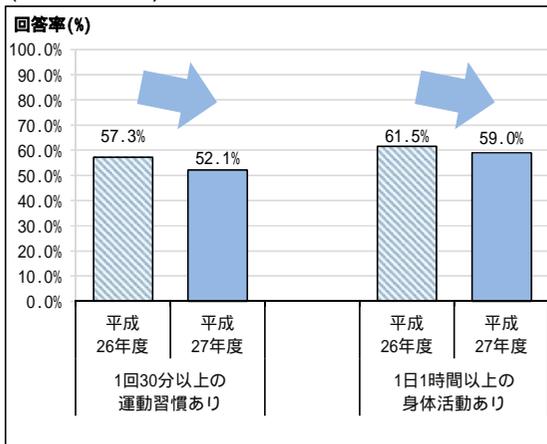
平成26年度から平成27年度の運動習慣に関する質問項目別回答状況について、新規参加者、国保全体は共に減少していましたが、連続参加者は「1日30分以上の運動習慣あり」、「1日1時間以上の身体活動あり」の回答率が共に増加していました。

#### 質問票項目別 回答状況推移

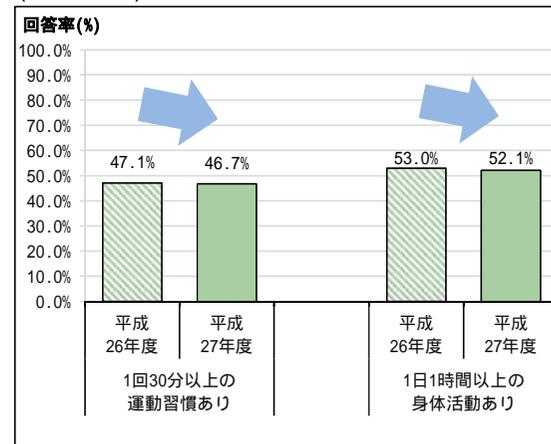
##### (連続参加者)



##### (新規参加者)



##### (国保全体)



データ化範囲(分析対象)...健診データは平成26年4月～平成28年3月健診分(24カ月分)。